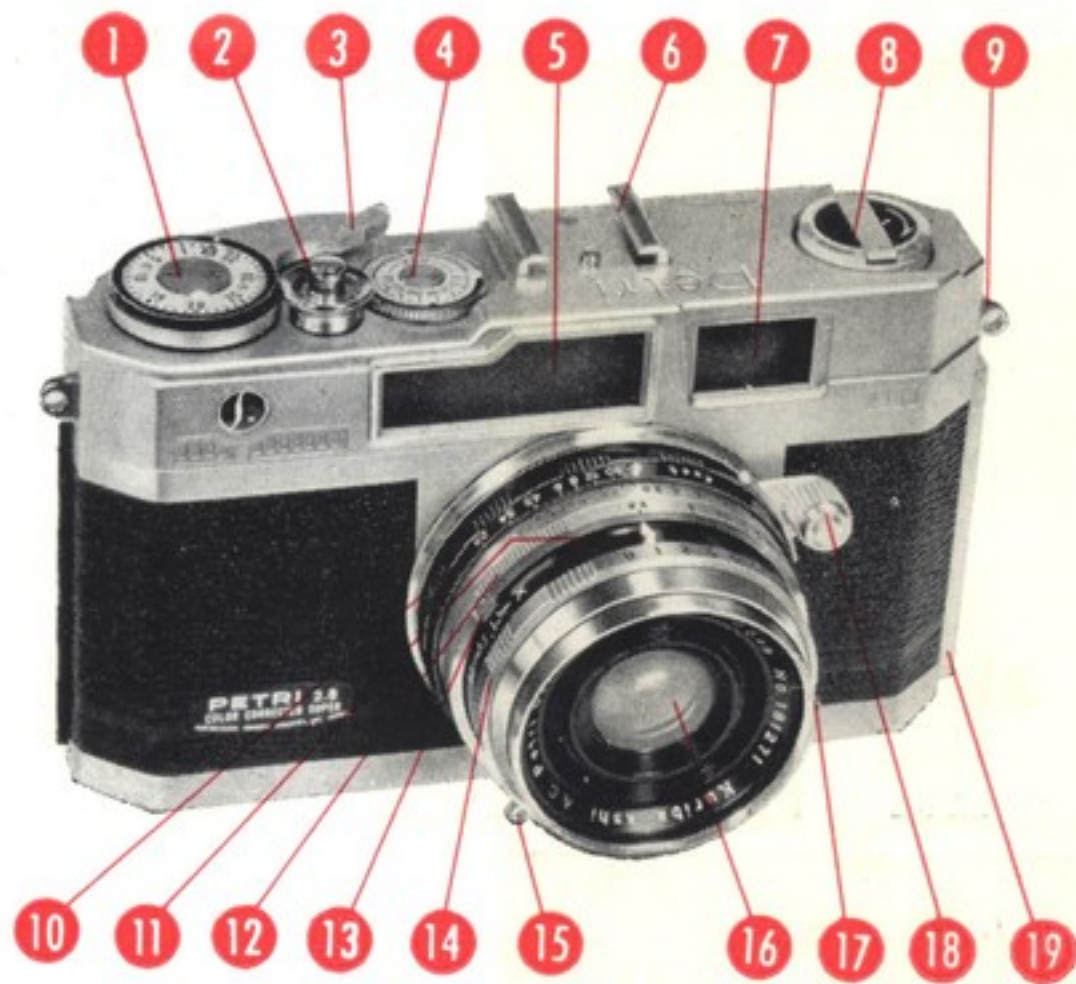


PETRI

INSTRUCTION BOOK

28



PETRI camera

- ① フィルムNo.
- ② シャッターリリースボタン
- ③ フィルム捲上げレバー
- ④ フィルム指示表
- ⑤ グリン・オマチック・ファインダー
- ⑥ アクセサリークリップ
- ⑦ 連動距離計ファインダー
- ⑧ フィルム捲戻しハンドル
- ⑨ 吊環
- ⑩ 焦点深度表目盛
- ⑪ 露出及びシャッタースピード一線上指示マーク
- ⑫ 距離目盛
- ⑬ MX切替レバー
- ⑭ シャッタースピード目盛
- ⑮ セルフタイマー
- ⑯ スーパーオリコールレンズ
- ⑰ シンクロターミナル
- ⑱ ヘリコイドレバー
- ⑲ 裏蓋開閉レバー

目次

- ペトリ2.8について……………2～3
- オリコールレンズ……………4～5
- ペトリ2.8の機構……………6
- ペトリ2.8の操作方法……………7～9
- カメラの構え方……………10～11
- ファインダーについて……………12～13
- 絞りとシャッターの調節……………14
- 四季の簡易露出表……………15
- 焦点深度表の活用……………16～17
- シンクロ……………18～19
- シンクロ撮影と露出……………20
- フィルム指示表……………21
- オリコールレンズの特徴……………22
- カーペルシャッター……………23
- フィルムを取出す方法……………24
- 撮影が終つたら……………25
- アクセサリーについて……………26
- ペトリフィルターの使用効果……………27
- 作例写真……………28
- カメラ取扱ひと保存……………29

歴 史
信 用
技 術
設 備
優 美

弊社は写真機の製造を初めました大正初期より四十余年の歴史を持つ、国産最古のカメラメーカーであります。此の度ペトリ 2.8 を生み出す迄には十数種のカメラを皆様のお手元へ送り出して居ります。大正初期にスピードフレックス、昭和に入りセミファースト等ファーストカメラ全種を製造し、戦後はいち早く（距離計付）ペトリ・カロロン等を発売し、昭和27年頃にはペトリRF・ペトリフレックス・ペトリスーパー等、御記憶に新しい処と存じます。又最近には

Good Design

ペトリ35 F/2.8 ペトリオートメイト、ペトリ F2等を発売して、広く内外の皆様から親しまれて参りました。

以上の様に永い経験と優秀なる技術陣を動員し併せて近代的工場設備を持ち、レンズ・ボディシャッターとその製作工程（プレス・旋盤・^素鍍金・塗装）より組立に至る迄、近代的コンベヤーメーションシステムを採用し、各部はすべて粗材より仕上、組立、検査、完成の工程を社内一貫作業により、優秀なるカメラを皆様のお手元へ送り出して居ります。

ペトリ 2.8 カメラの特長は堅牢でしかも優美なことであります。又高性能にして買い易い価格、此の二大特長を弊社は誇りと致して居ります。



高度の鮮鋭度

画面全般に亘る均一性

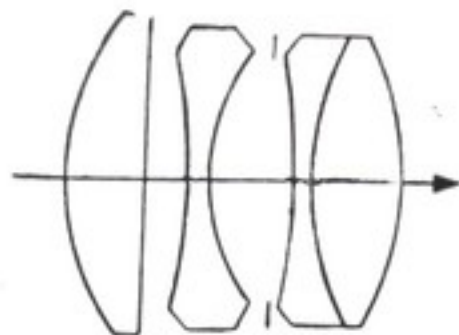
カラー撮影に最適

アンバーコーティング

優雅なコントラスト

新種光学ガラス使用により
各収差は最大限に矯正され
たニュースタイル・レンズ

SUPER ORIKKOR LENS F 2.8



TEST CHART



スーパー・オリコールレンズに就いて

従来から鮮鋭なレンズの一つとして定評のあったオリコール**F2.8**レンズに徹底的な検討を加え改良設計を行って完成したテツツサータイプのレンズです。ランタンガラスを含む特殊光学硝子を豊富に使用して、解像力描写力が共に最高の水準を行き、球面収差・非点収差・コマ収差或いは絞りによる焦点移動など画像の不安は全く認められません。更に、ペトリ独特のアンバーコーティングによる効果は、モノクロームは勿論カラー撮影に偉力を発揮して海外の輸出先特にアメリカなどで好評を得ています。

ペトリ 2.8

の機構

ペトリ 2.8 カメラはライカ判専用カメラとして、35mm フィルム（20枚・36枚）を使って、其の精度を高めると共に速写性を十分に生かす様設計されて居ります。

ペトリ 2.8 カメラはヘリコイド式連動距離計を持ち、ヘリコイドを動かす事により、明るく見易いゴールデンフレーム・パララックスファインダーが動き、常に正しい撮影の範囲が得られる完全な連動距離計パララックス自動匡正カメラであります。

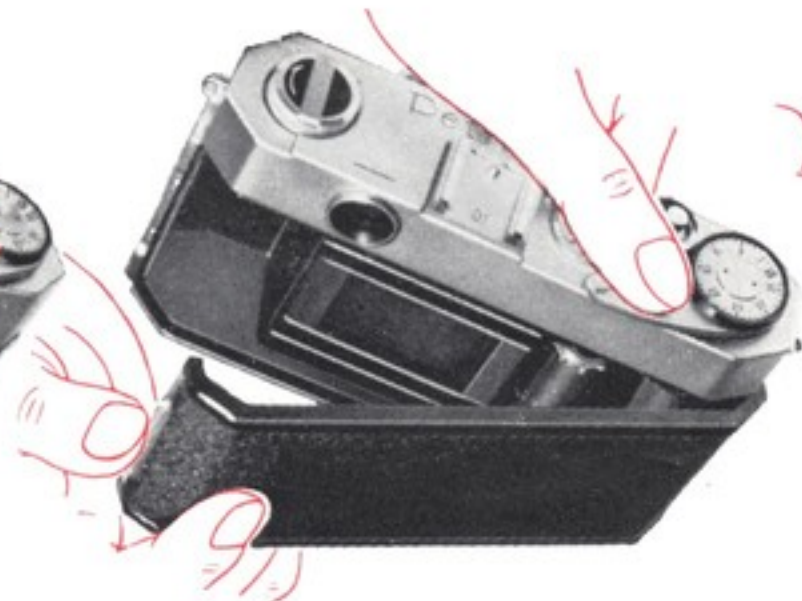
フィルム捲き上げはレバー式ワンストロークでフィルム1枚を送り、シャッターセットはフィルム捲き上げと同時に居りますから、捲き上げレバーを捲き距離計を合はせ、シャッターを切る速写性に富んだ機構撮影を一層容易にします。

ペトリ 2.8 の操作方法



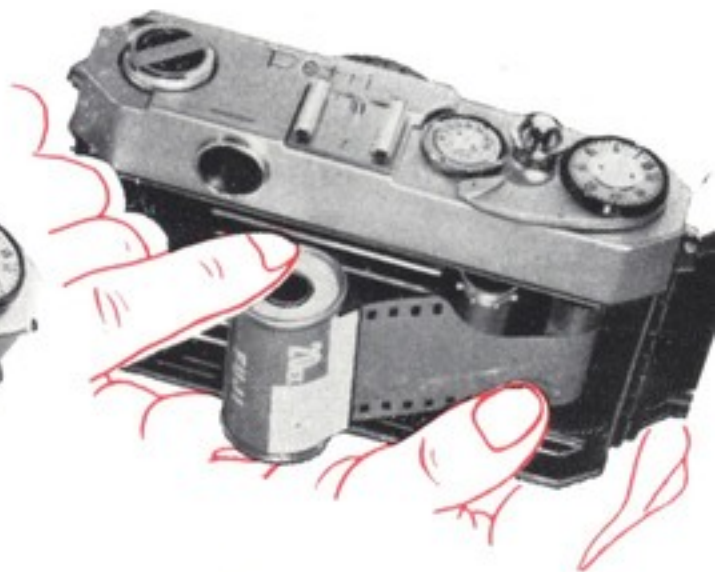
裏蓋開閉 (A)

開閉レバーを引きます。



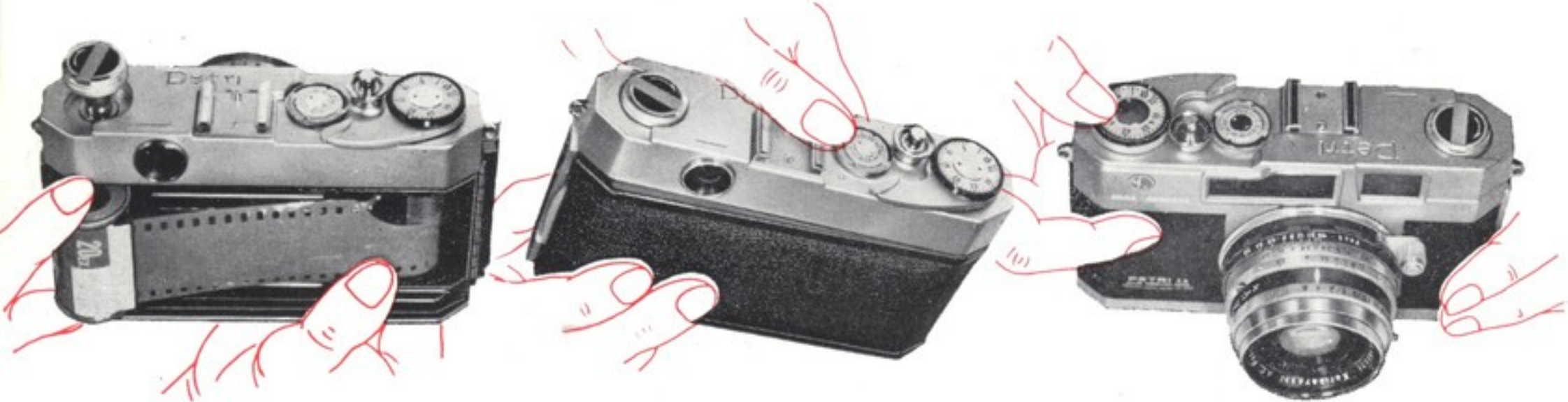
裏蓋開閉 (B)

写真の様に裏蓋を開きます。



フィルム装填 (A)

フィルムの先端を捲取用スプールの溝に差込みます。



フィルム装填 (B)

フィルムをリターンノ
ツプ迄引延しフィルム
を装填し、フィルム両
端のコマが歯車に入る
迄巻きます。

裏蓋開閉

裏蓋は写真の様に押す
事によって自動的に閉
ります。

フィルム指示表 (A)

フィルムNo. をS印に
合はせます。



フィルム指示表 (B)

捲上げレバーとボデーシャッターを交互に操作し、フィルム指示表がNo. 1になるまで捲上げます。

捲上げハンドルは止る所迄完全に捲上げて下さい。



露出設定 (A)

シャッターダイヤルを廻してシャッタースピードを決めます。



露出設定 (B)

絞り調節ダイヤルを操作して露出をきめます。

シャッタースピードとレンズ絞りによる露出はカメラ上部より一線上看られます。

カメラの構え方

35mm カメラは原板サイズが小さいため、**わずかのカメラぶれも写真の鮮鋭度に大きく影響します。**従ってカメラの構え方は二眼レフやスプリングカメラ以上に注意が必要です。カメラを構えるには縦位置の場合でも横位置の場合でも両肘はできるだけ体につけ、**安定した姿勢で無理なく構えるということが大切です。**無理な姿勢、不安定な構えはカメラぶれの原因になります。これではいくら高級カメラを使用してもボックスカメラで撮影した写真にも劣るといふ結果にもなりかねません。



ファインダーを覗き視野をきめる。

右図に示された様に二重像が合致する迄ヘリコイドを移動し、完全な焦点を得てから撮影して下さい。

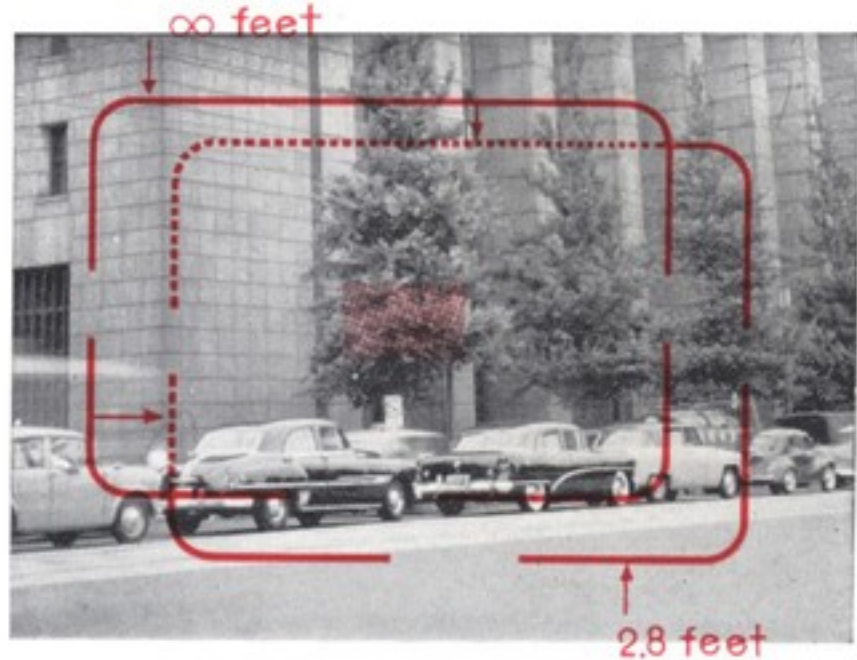
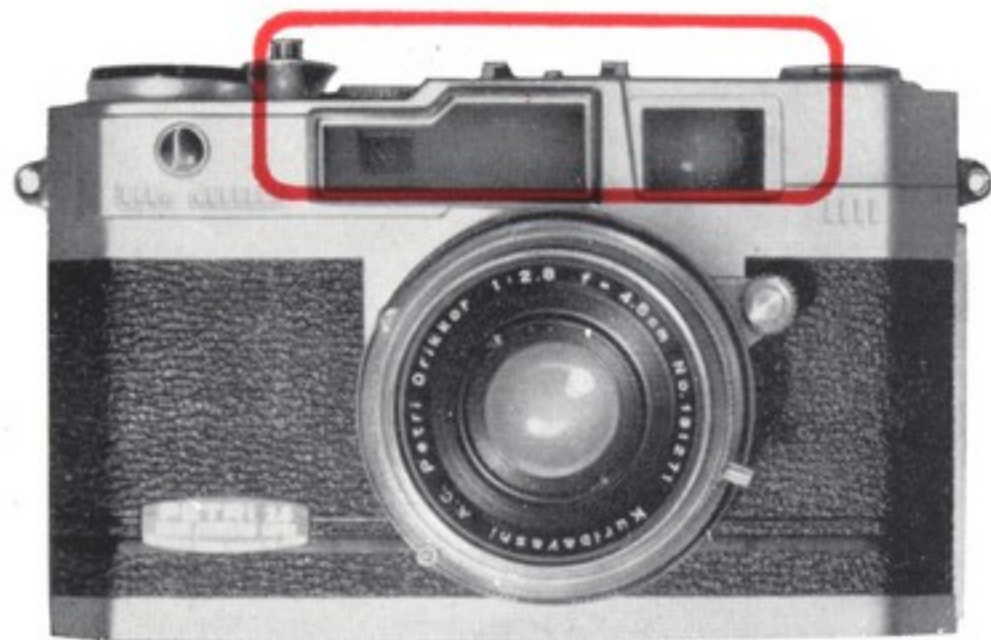


ファインダー の見方

ペトリ 2.8 カメラのファインダーは、全く新しいアイデアを基に設計された、グリーン・オ・マチック・システムです。

- ① グリーン・フィルター（特殊クラウンガラス使用）
- ② ゴールデンフレーム式パラックス完全自動匡正機構
- ③ ワイドタイプのアイピースなど、数々の新しい機構が採用されています。このため、長時間ファインダーを覗いて居ても目の疲労感を全然感じさせず特に暗部撮影の場合非常に明るく見易い様に設計してあります。これはパラックス完全自動匡正装置と相俟ってスポーツ写真やスナップ撮影などの場合従来のカメラに有りがちな画面のケラレなど未然に防ぐこともできます。亦眼鏡を掛けたままでも適格に被写体を写せる事も特徴の一つです。

パララックス完全自動匡正装置



遠くの被写体を撮影する場合と近くの物を写す場合とでは実際にフィルム面に写る範囲がファインダーで覗いた部分と相当の開きが生じます。此の為に今迄のカメラですと近接撮影の場合、よく頭が切れたりする事がありますが**ペトリ 2.8**カメラではこれを防止する為にヘリコイドを動かす事によって連動距離計と一緒にファインダーの枠が動きますのでこの様な失敗は全然起きません。

絞りと シャッター の調節

絞りとシャッターの調節は天候（晴、曇、雨）季節（春、夏、秋、冬）等により異なりますが、右に示す表を御参照になって下さい。併し大体の標準ですから少々はその時、場所、背影等により異なりますからそれに応じて適性な露出を決めます。露出の適性、不適性はフィルムの受ける感光度の大小ですから写真に最も影響します。少な過ぎたり、多すぎたりする場合は印画に白く出たり、黒く出たり良い写真が得られません。現像は（20枚～36枚）一本を一回に行いますから各一駒一駒が適性でも一本が均一な露出になっていないと現像時間を片方に合わせる為不均一のものは不良になります。昼間撮影と朝夕撮影を一本に収める時は特に正しい露出を決めなくてはなりません。

四季の
簡易露出表

(午前10時～午後2時)

被写体	季節	春	夏	秋	冬
	月	3, 4, 5	6, 7, 8	9, 10, 11	12, 1, 2
海、山、雪景 展開した風景		f16 1/250秒	f22 1/500秒	f16 1/250秒	f11 1/250秒
普通風景		f11 1/200秒	f16 1/200秒	f11 1/250秒	f8 1/250秒
明るい街路 スナップ		f8 1/500秒	f11 1/500秒	f8 1/250秒	f8 1/100秒
戸外集合人物		f8 1/100秒	f8 1/250秒	f8 1/100秒	f5.6 1/100秒
戸外人物大写		f5.6 1/100秒	f5.6 1/250秒	f5.6 1/50秒	f4 1/50秒
日蔭人物		f4 1/100秒	f4 1/250秒	f4 1/50秒	f4 1/25秒
天候		快晴	薄曇	普通曇	極曇
		上記標準	2倍	3倍	4倍
時刻		午前10時～午後2時 標準	午前9時～10時 午後2時～3時	2倍	午前8時～9時 午前3時～4時
フィルム		ASA 10. 標準		ASA 50 2倍	

焦点深度

の活用

焦点深度はレンズの絞りに関係があるだけでなく、レンズの焦点距離の違いにより変化します。同一F値のレンズでも焦点距離の短いレンズは焦点深度が深く、長いレンズは浅くなります。同じF2.8であっても35mm判の45mmのレンズは6×6判、セミ判の75mmのレンズより深い焦点深度を持って居ります。又同一レンズでも近距離にピントを合わせると焦点深度は浅いが遠距離では深くなり、尚ピントを合わせた中心点より遠方に深く手前の方に浅くなっております。こうした焦点深度には一定の基準があり、これにより算出した焦点深度の目盛を表にしたものが焦点深度表であります。この焦点深度表によれば、正しくピントの合う範囲がたゞちに分り撮影が迅速に行われます。例えば 4.5feet にいる

SUPER ORIKKOR 1:2.8 F = 45mm

Depth Guide

人物と 6 feet にある建物を鮮明に写したいときは45mmのレンズならば f8 に絞って距離 4.5 feet に合わせます。又中景以遠を焦点深度内に入れ時、この表によれば容易で 12 feet に合わせて45mmのレンズならば f16 に絞れば 5 feet から遠景までピントが合い、スナップなどはいちいち焦点調節しなくても 5 feet 以上の被写体なら安心して写せる様になって居ります。

F Feet	2.8	4	5.6	8	11	16	22
2.8	2.94~2.67	3.00~2.62	3.10~2.56	3.22~2.46	3.36~2.30	3.84~2.20	4.50~2.03
3.4	3.61~3.21	3.70~3.14	3.84~3.04	4.08~2.91	4.42~2.76	5.12~2.55	6.30~2.33
4.5	4.88~4.18	5.07~4.04	5.35~3.75	5.80~3.68	6.50~3.44	8.17~3.12	11.70 ~ 2.79
6	6.72~5.43	7.10~5.22	7.62~4.95	8.60~4.62	10.03 ~ 4.24	15.10 ~ 3.74	35.50 ~ 3.28
8	9.34~7.00	10.00 ~ 6.71	11.15 ~ 6.24	13.40 ~ 5.70	18.00 ~ 5.15	42.00 ~ 4.43	∞ ~ 3.79
12	15.20 ~ 10.10	17.30 ~ 9.20	21.00 ~ 8.40	30.80 ~ 7.45	75.40 ~ 6.54	∞ ~ 5.42	∞ ~ 4.50
30	65.00 ~ 19.50	76.70 ~ 16.90	∞ ~ 14.40	∞ ~ 11.80	∞ ~ 9.61	∞ ~ 7.45	∞ ~ 5.75
∞	∞ ~ 55.40	∞ ~ 38.80	∞ ~ 27.70	∞ ~ 19.40	∞ ~ 14.10	∞ ~ 8.40	∞ ~ 7.00

シンクロ

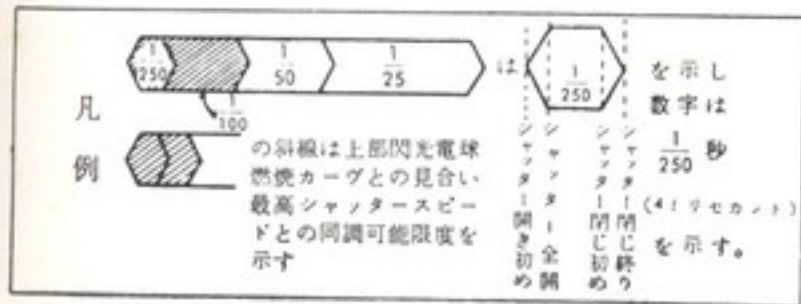
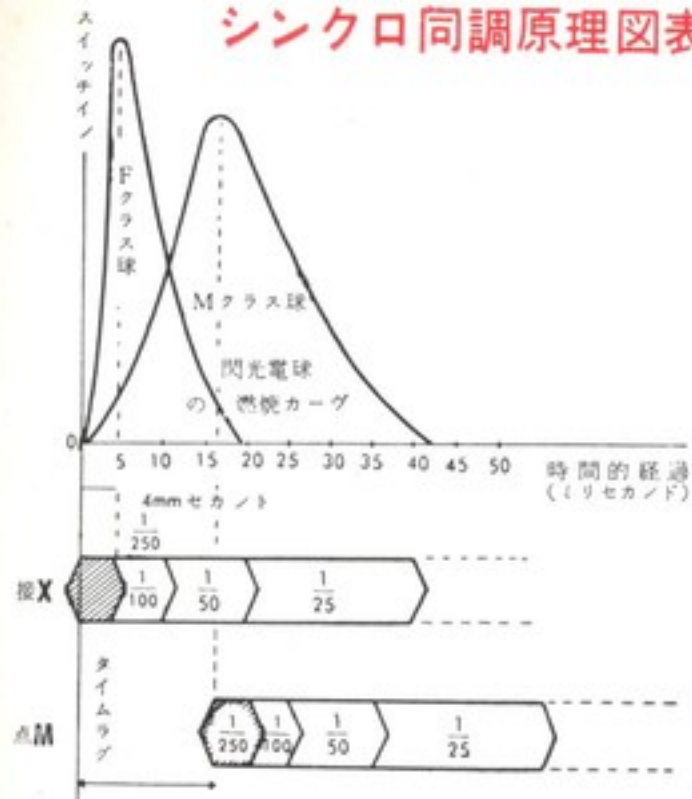
シンクロコード（ドイツ式）をシャッターのシンクロ接点に差込むだけでもあらゆる閃光電球を全シャッタースピードにフルシンクロ致します。閃光電球にはM球・F球の二種類があります。

X 接点：切換レバーをXの位置におき、シャッターを切ることによりシャッター全開時にシンクロし（タイムラグ0）1/100秒以上の高速シャッター使用の場合ストロボ専用となる（ストロボ使用全シャッタースピード同調）

M 接点：切換レバーをMの位置におきシャッターをセットし、シャッターを切ることによりシャッター開放前にシンクロし（シャッター全開時迄のタイムラグ18%セカンド）M級の電球を使用することに依り全シャッタースピードに同調します。

セルフタイマー使用時：接点をXの位置におくことに依りセルフタイマーを使用することが出来る。此の場合セルフタイマーを使用しながらシンクロを必要とする際はストロボ以外の使用に対してF級の球を使用し1/50秒以下のシャッターを使用する。但しM接点ではセルフタイマーを使用する事は出来ません。

シンクロ同調原理図表



シンクロ撮影について

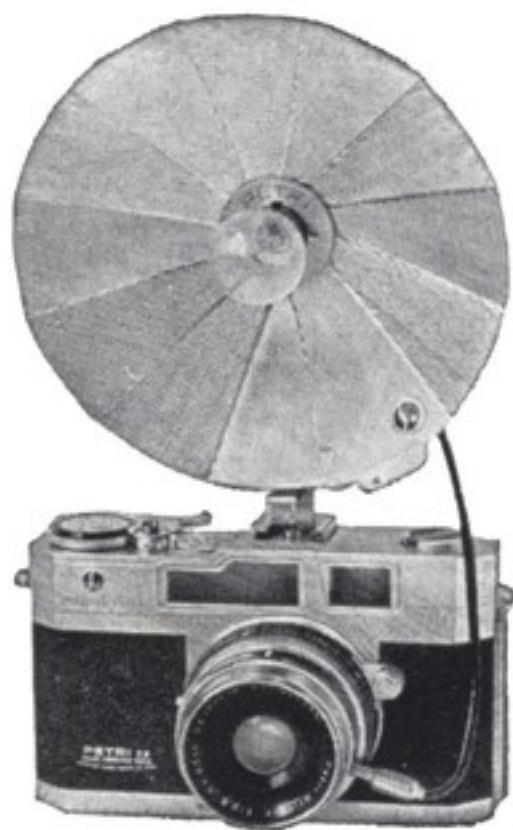
シンクロ撮影については応々にして故障を生じたり撮影に不馴れのため、失敗を起しますので良く研究、点検してから撮影にかゝりましょう。

閃光電球の不発

- フラッシュガンの故障
- コードの接続不良
- 電球の不良

乾電池の不良

乾電池が古くなると電圧が低下する為、不発又は発火しても同調しない原因となります。



シンクロ撮影と露出

一般撮影の露出は絞りとシャッター速度を調節して決定するが、シンクロ撮影では閃光電球から被写体までの距離と絞りにより決定致しますので 1/25～1/10の如き緩速シャッターでも露出の変化はありません。しかし 1/100 秒以上の高速撮影では閃光電球の光力の一部しか使わないので、その光量により距離か、絞りを加減しなければなりません。

常に一定の閃光電球を使いその光量を有効に使うシャッターを決定して置けば絞りとは距離は別表の通りになります、又被写体の明暗、室内の明暗により幾分異なりますが、自然光の殆んどない所では閃光電球の光だけを考えた別表の露出を御使用下さい。

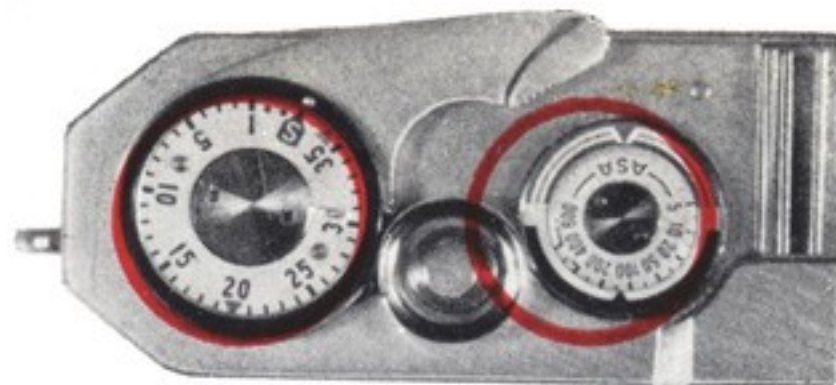
シンクロ標準露出表

使用電球 No 総光量ルーメン 秒	級	絞 り				
		F 2.8	F 4	F 5.6	F 8	F 11
S F 8,000	F	Feet 20	Feet 18	Feet 13	Feet 10	Feet 7
No. 3 14,000	M	27	24	16	12	9
No. 62 14,000	F P	18	15	10	7	6

(ウエスト使用例) シャッター速度は1/50秒又は1/100秒使用、フィルムは
 コニパンS・ネオパンS
 SSフィルム使用の場合は同一絞りで撮影距離を50%増加出来ます。

フィルム
指示表

Film Indicator



ペトリ 2.8 カメラのフィルム指示表により装填されたフィルムの種別を知る事が出来ます。35mmフィルムは色々種類がありますので、どのフィルムを装填したか区別がつかなくなる事があります。かようにフィルム指示表は御使用の際にフィルムの種別（ASA）を記憶するのに役立つ事となります。フィルム指示表には通常使用される六種のフィルムのASA指数が記されてありますので、装填されたフィルムの感光度（ASA）を指先にて矢印に合わせる様に廻して下さい。尚フィルムカウンターが同じ面に装置されて居りますから御使用になる場合は非常に便利です。

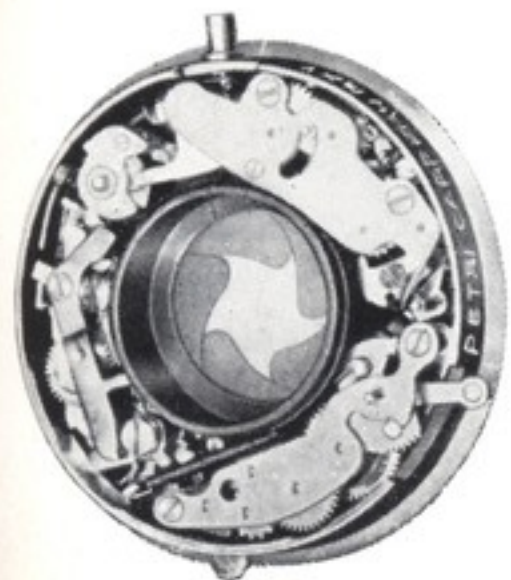
オリコールレンズ”の特徴

35mm カメラレンズは印画引伸しの際にて相当過度な拡大率を要求されるので非常に高度のものでなければなりません。其の為ペトリ 2.8 用オリコールレンズの使用材料は光学的、材質的に最も新しく進歩したものであります。

オリコールレンズの 45mm という焦点距離は準広角とも云えるものでそれだけ焦点深度も深く瞬間にピントを合わせシャッターを切らねばならないスナップ撮影には至便です。又、二大特徴としては 2.8 feet まで近接撮影が可能なことと、カラー撮影に最適なアンバーコーティングをしたオリコールレンズとボディ内部の内面反射防止装置によりカラー撮影に特に偉力を発揮します。

ペトリ 2.8 はスマートな外観と優れたオリコールレンズの性能により必ずや貴方の写真を満足させることでありましょう。

カーペルシャッター



CARPERU — M.X.V

SHUTTER

シャッタースピード
B・1秒～1/500秒

セルフタイマー内臓
(8～9秒)

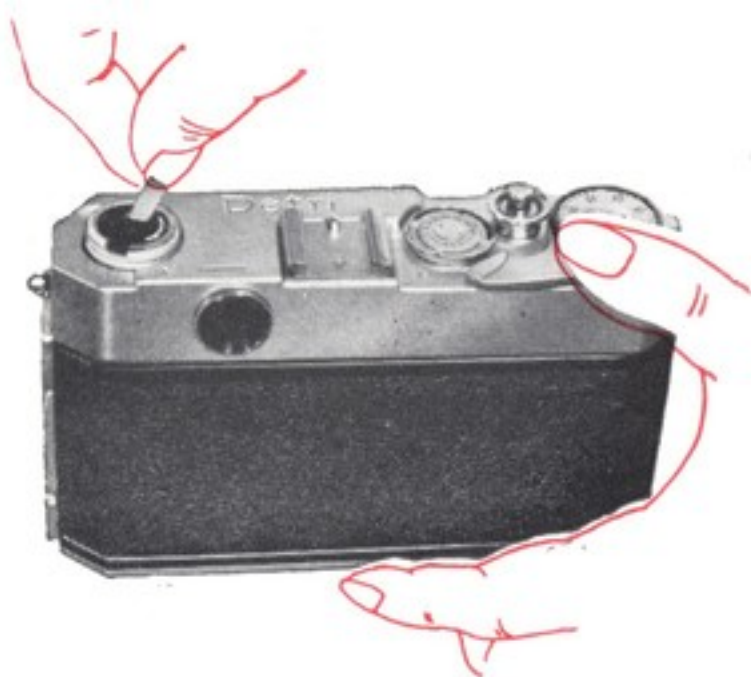
5枚羽根

フラッシュ撮影に
MF.X接点装備

- ① カーペルシャッターはリリースアクションの軽いのを一大特徴と致して居ります。ポデーリリース圧力は190gで撮影時に於けるシャッター抵抗を原因とするカメラブレは未然に防止出来ます。
- ② セットレバーを内蔵してフィルムの捲上げと同時にチャージされるプロンタータイプで故障絶無のシャッターであります。
- ③ 近代シャッターの必須条件であります、フラッシュ撮影にMF.X接点をビルトインしております。

シャッタースピードとレンズの絞りによる露出の設定はカメラ上部より一線上に見え非常に便利です。

PETRI camera



フィルム捲戻し

下部のリターンボタンを
押しながらフィルムを再
び捲き戻す。

フィルムを取り出す方法



フィルム取外し

上部リターンノックを引
きマガジン(パトローネ)
を取り出します。

撮影が終ったら

撮し終ったフィルムはすぐ現像することが大切です。よく撮影済のフィルムをポケットに入れて持ち歩く人がいますが、これなどは絶対にさげなければなりません。特に夏の如き高湿、高温に露出されたフィルムが合うと、カブリが現れますし、フラットになる傾向があります。特に甚しい場合は線状のカブリや斑点があらわれたり、パトロネにフィルムが貼り付く場合がありますから、早めに現像することが必要です。

撮影完了フィルムの取り扱いは、パトロネに捲き戻しますが、うっかりすると撮影前か撮影後のフィルムか区別が付かなくなりますので、未撮影のフィルムと区別する為、端を少し切り取るなりフィルムの膜面にペンで被写体、天候などを記入しておくとう便利です。よく全部捲き込む人も居りますが、空のパトロネと間違えることがありますから、注意致しましょう。

アクセサリ

ペトリフード

斬新的なスマートさで完全なる内面反射防止が施してあり止ネジによる確実な装着、軽合金による軽い材質はペトリ2.8カメラに完全にマッチいたします。



ペトリフィルター

フィルターの効用は今更述べるまでもありませんが、現在の感光材料ではフィルターを欠く事は出来ません、ただ多種多様のフィルターを使い分けるのは余りに繁雑です。ペトリフィルターは最も利用の多い品種を選んでペトリ2.8専用としました。

ペトリ AUX レンズ

テレフォトレンズ 65mm
ワイドアングルレンズ 38mm
兼用ファインダー

カメラのレンズにネジ込み式にて装着出来る画期的な新製品ですからお手軽に望遠・広角撮影を楽しむ事が出来ます。



ベトリフィルターの使用効果と特長

- Y 1** = 青空を背景とした風景、人物、建物、草花等の撮影に多く利用され、肉眼の感じ
Y 2 = に最も近い色彩の明暗感を顕してくれます。尚主題と青空とのコントラストは
Y1. Y2. の順に強くなりますから、皆様の撮影意図に依って使い分けて下さい。
- YA3** = 強いコントラストを得るのに用いられ、特に山岳、遠景等の撮影には視角以上の
克明な山肌や遠景を写し撮ります。
- R 1** = 赤色フィルターは長波光を導入しますから光の拡散が少なく、従って遠景を克明
に描写する為、航空写真によく利用されるのもこの種のフィルターです。
- PO1** = 人物撮影用フィルターとして多く利用され皮膚感を非常によく表現する事が出来
ます。
- 尚 **カラー用**としてデーライトタイプに多く用いられるヘーズカット（紫外線吸
収用）として**UV**、温調用として**W4**、冷調用の**C4**、フラッシュ用**C8**とタング
ステン電灯（3200. K）用として**C12**があります。



PETRI camera

カメラの取扱ひと保存

カメラはよほど無理な扱ひ方をしない限り撮影中にそう故障を起すものではありませんが、カメラは一種の精密機械ですから機構を無視して取扱うと故障の原因になります特に注意すべきはレンズシャッターです。これは一度セットした後、セットしたまま何日もほって置くことはスプリングを弱めますから、必ずシャッターを最後に切る様習慣づけましょう。

カメラの保存は毎日カメラを使用している場合は問題ありませんが一ヶ月に一回位の時は特に注意しましょう。保存する時はカメラをケースから出して別々に箱に入れて置きます。場所は湿気のない乾燥した所（タンス、桐箱等）に置きましょう。又カメラをしまう時は各部点検手入してからしまします。保存が長期の場合は時々取り出して点検する様に努めて下さい。

お問い合わせは……

ペトリカメラサービスステーション

東京・千代田・神田・小川町2-2

TEL. (29) 4986~8



PETRI

栗林写真工業株式会社

営業所 東京都千代田区神田小川町2ノ2
国内関係電話東京034986~8
工場 東京都足立区梅島町一番地
輸出関係電話(888)1111~4

株式会社 八光社印行



PETRI

Kuribayashi Camera Industry, Inc.

*Domestic Office : No. 2, 2-chome, Ogawa-machi, Kanda.
Chiyoda-ku, Tokyo, Japan Tel. (29) 4986~8*

*Export Office: No. 1, Umejima-machi, Adachi-ku
Tokyo, Japan Tel (888) 1111~4*

U.S. Branch : PETRI CAMERA CO., INC.

11 West 20th Street. New York 11, N. Y.